

2019年入試予測【東京23区 男子校】

中学校名	区	主な入試の変更点と予測
暁星	千代田区	入試の変更点はなし。模試での希望者数に目立つ変化は見られず、2018年並みの難度の入試になりそう。
麻布	港区	御三家の一つ。入試の変更点はなし。模試では学力上位の希望者が増えているが、すでに限界に近い難度なので、難度面では2018年と大きな違いは出ないと思われる。
芝	港区	入試の変更点はなし。模試では希望者が少し増えていて、2月1日の1次で学力上位の希望者の増加が目立つ。もともと4日の2次は御三家の併願受験生で厳しい入試だが、1次もやや難化するかもしれない。
高輪	港区	入試の変更点はなし。模試では希望者が少し増えている。2月2日午後の算数入試は併願受験生が多いことから、2018年並みの難度になりそうだが、他の回次は少し難化するかもしれない。注意が必要。
海城	新宿区	一般入試の変更点はなし。帰国生入試では、理社や理社の内容を含む総合を科目から外す。模試では2月1日の1回、3日の2回とも学力上位の希望者が増えている。1回はやや難化するかもしれない。2回はもともと御三家などとの併願が多いため、現状よりもさらに難化することはなさそうだが、注意した方がよい。
早稲田	新宿区	入試の変更点はなし。模試では希望者数に目立った動きは見られない。2019年に向けては海城に受験生が流れている様子。このまま推移すれば、2月1日の1回、3日の2回とも、2018年並みの難度になりそう。
成城	新宿区	高校募集を取りやめて完全中高一貫校入試になるが、中学入試では特に変更点はなし。ここ数年、難化傾向だったこともあって、模試の希望者数に目立った動きは見られない。各回次とも2018年並みの難度になるとと思われる。
獨協	文京区	入試の変更点はなし。模試では中堅の学力層の希望者が増えている。難度そのものを引き上げることはなさそうだが、3回の入試とも合格ライン付近ではやや厳しい競争になるかもしれない。
日大豊山	文京区	入試回次の定員配分を見直すが、入試情勢に影響はない。模試では併願前提の希望者が増えていて、特に2月3日午前午後の3・4回は学力上位の希望者も目立つ。1日午前の1回は難度に変化はなさそうだが、2日午後の2回以降はやや難化するかもしれない。

中学校名	区	主な入試の変更点と予測
京華	文京区	特選の英語選択入試を2月1日午前から午後に移行、適性検査型で検査Ⅲの実施、日程ごとの定員配分の変更などがあるが、入試情勢にはあまり影響しない。併願校としての人気が上がっていることから、模試では1日午後の特選入試は学力上位の希望者が少し増えているが、他の回次はあまり目立った動きは見られないは各回次とも2018年並みの難度になりそう。
芝浦工大附属	江東区	2017年に校舎を豊洲に移転、高校は共学化して大人気になった学校。2019年は帰国生入試の日程を変更するのみで、入試情勢への影響はない。難化が進んだためか、2019年に向けては模試の希望者数に目立つ動きは見られない。各回次とも2018年並みの難度になりそう。
攻玉社	品川区	国際の入試日を1日前倒しにするとともに2月5日午前の特選を算数か国語の選択から算数のみとする。模試では志望順位が高い希望者が増加傾向。2月1日の1回がやや難化するかもしれない。1回の不合格者は2日の2回や特選に挑戦するので、こちらも少し難化する可能性がある。
日本学園	世田谷区	小規模な入試の学校。入試に一部変更点はあるが、人気に変化は見られない。2018年のような入試になりそう。
筑波大駒場(国立)	世田谷区	入試の変更点はなし。模試では学力上位の希望者の増加が目立つ。すでにかなり高難度なので、さらに難化するとは考えにくい。厳しい入試が展開することは確か。
駒場東邦	世田谷区	入試の変更点はなし。模試では学力上位の希望者が増えている。かなり高難度なので、改めて難化しそうだとは言わないが、とにかく厳しい入試になりそう。
世田谷学園	世田谷区	2月1日午後に特待も出さず算数特選入試を新設。同校では初めての午後入試。模試では新設の算数特選への受験生の関心が高く、既存の1日・2日・4日午前の1～3次も希望者が少し増えている。算数特選は併願受験生が多いものとみられ、難度面では既存の各回とあまり変わらないと思われる。既存の各回は募集定員が削減されるため、特に1次と2次はやや難化するかもしれない。3次は2018年並みの難度になりそう。
東京都市大付属	世田谷区	入試の変更点はなし。都内男子校随一の応募者数の学校。模試では志望順位が高い希望者が増加傾向で、学力上位の希望者も増えている。難度が高いⅡ類と、標準のⅠ類の2コース制だが、Ⅰ類は各回次ともやや難化するかもしれない。Ⅱ類は難度に変化はなさそう。
明大中野	中野区	入試の変更点はなし。附属校人気を背景に模試での希望者の増加が目立っていて、特に2月2日の1回は学力上位の希望者も増えている。1回の不合格者は4日の2回に再挑戦するので、1・2回とも難化の可能性がある。注意した方が良い。

中学校名	区	主な入試の変更点と予測
佼成学園	杉並区	入試の変更点はなし。模試では希望者が増加傾向だが、難化するほどではなく、特奨入試、一般入試の各回次とも2018年並みの難度になりそう。
巣鴨	豊島区	2月1日午後に算数1科目の算数選抜入試を新設、4回入試になる。難度が以前より少し緩和してきたためか、模試では中堅の学力層の希望者が増加傾向。4回入試になって、各回次の合格者数は削減されるが、目立って難化することはなく、若干難化するかどうか、といったところだと思われる。
本郷	豊島区	入試の変更点はなし。模試では特に志望順位が高い学力上位の希望者の増加が目立つ。このまま推移すれば2月1日の1回は難化必至で、1回の不合格者は2日の2回や5日の3回に挑戦するため、2・3回も難化の可能性が高い。警戒校。
立教池袋	豊島区	入試の変更点はなし。有名大学附属校の人気が高まっていることもあって、模試では学力上位層、学力中堅層ともに希望者が増えている。このまま推移すると、2月2日の1回、5日の2回とも少し難化するかもしれない。
学習院	豊島区	入試の変更点はなし。模試では希望者が増えていて、特に2月3日の2回は学力上位の希望者の増加が目立つ。2日の1回はやや難化するかもしれない。2回はさらに難化の可能性が高い。
聖学院	北区	ものづくり思考力入試を2月2日午前から1日午後に移行する。模試では希望者が少し増えているが、難化するほどではない様子。各回次とも2018年並みの難度が続くそう。
開成	荒川区	入試の変更点はなし。模試の希望者は増えてはいるものの小幅。難度はすでに上限に達していて、2019年もかなり高難度の入試が展開すると考えられる。
城北	板橋区	入試の変更点はなし。模試では、志望順位が高い高学力の希望者が少し増えている。2月1日の1回は少し難化するかもしれない。1回の不合格者は2日の2回や4日の3回に再挑戦するため、こちらも難化する可能性がある。注意した方がよい。
武蔵	練馬区	入試の変更点はなし。御三家の一角。模試では希望者が増えている。かなり高難度の学校だが、近年は入試問題の特殊性からやや難度が緩和していた。しかし、2019年は少し難化する可能性があり、注意が必要。
早大学院	練馬区	入試の変更点はなし。附属校人気を反映して、模試では希望者が増えている。少し難化するかもしれない。
足立学園	足立区	入試の変更点はなし。模試でも希望者数に特に目立つ動きはなく、各回次とも2018年並みの難度になりそう。